

長かった・・・・・・・・！！

「長かった・・・・・・・・！！」これが技術士受験に対する私の印象だ。家族や APEC さん・受験講座の講師始め数々の皆さんにお世話になり、技術士を取得することができた。私の特異な合格体験記を、これから受験する皆さんの一助にでもと筆を執った次第です。

昨日(3/27)待望の登録証が届いた。これで技術士を名乗れる。長かった！明日は県支部の合格祝賀会があり、参加する予定だ。先輩たちにいろいろ教わってこよう。また同期の合格者とも知見を広めたい。

思えばはるばると来たもんだ。さんざ失敗して1次試験に合格したのが平成 24 年の 10 月。2次試験の願書を出したのが、平成 25 年の 4 月。2次試験が平成 25 年の 8 月。2次試験の合格発表が平成 25 年 11 月。その時に口頭試験を指示されたのが平成 25 年 12 月 6 日。2次試験の合格発表が平成 26 年の 3 月 3 日。そして合格発表！見事、合格！合格通知が来たのが平成 26 年 3 月 7 日。法務局の「登記されない証明書」の到着を待って、登録申請したのが 3 月 18 日。その間に2次試験の参考に挑んだコンクリート主任技士の試験に合格したのが平成 25 年 12 月。今となれば怒濤の？日々だった。総監も面白そうだけど、もうタイムアップのようです。

思いこみと1次試験が免除ということだけで技術士を受験したのがはるか昔の平成 9 年。傾向と対策もへったくれもなく、あえなく沈没！手がかりすら掴めなかった。試験場で手を拱いていただけ。翌年も翌々年も願書だけは出したけど、仕事にかこつけて敵前逃亡。それから自堕落な生活をしている内に、一時は諦め掛けたけど、ここにきてやっと「sukiyakini 塾」に巡り会い、また受験意欲が再燃。1次試験を受験したのが、平成 22 年。一次試験のお供は APEC さんの「技術士受験を応援する第一次試験合格法 基礎科目・適性科目編(2008 年度版)」。解りやすく最強の参考書。基礎科目はお陰でバッチリだったのに、1年目は専門科目で1問足らずサクラチル。次の年は、専門科目の過去問題を復習して試験に備えたけど、適性試験でボツ！こんなんで落ちるなんてと切歯扼腕！悔しくて再度受験に挑戦する。

そして平成 24 年 8 月、一次試験再々受験。夏の暑い日で、外でテキスト見直ししながら、蚊に喰われまくり。素肌をさらすのは要注意！そして同年 11 月一次試験合格！嬉しかった。第一関門突破！すぐさま二次試験対策を始める。また APEC さんの「独学・過去問で効率的に突破する！「技術士試験」勉強法 (DO BOOKS)」購入。

過去の経歴の棚卸し。経歴書に載せる工事と課題・問題点を拾い上げる。その中から特に経歴詳述用の現場を選択し、課題解決論文に仕上げる。それと並行して申込書対策セミナーに出かけ、添削コースをお願いして準備万端のつもりが、いつもの怠け癖で、受験勉強はちっとも捗らず、一夜漬け状態。結局、添削問題も締め切りまでに提出できずしまい。

情けないったらありやしない。

二次試験対策は、過去問題を題材にして、時間計りながら記述して、大体の文量とペースを掴む練習をした。APECさんの骨子法を参考に、まず問題をよく見て、骨子の把握と文の構成を練って、ネタを集め、見通しができたところで一気に書き上げる。見通しができれば、文量により大体の時間が読める。択一式対策として馴れない国土交通白書と参考テキストを読んで、用語の把握に努めた。図書館にも行ってみたけど、自分向きではなかった。他人が気になりすぎ、却って気が散ってしまい、集中できなくて、もっぱら夜、自宅で皆が寝静まってから、赤い目をこすりながら、作文に挑戦した。できることはやった。

専門科目は、土木の現場管理がメインだったので、経験の多い「砂防・河川」も考えたけど、やはり「施工計画・施工設備・積算」で行くことにした。過去問をみると、コンクリート関連の問題が多いため、特に重点的に取りかかった。参考にコンクリート主任技士の勉強と並行して行った。(コンクリート主任技士の試験は11月。合否発表はクリスマス前後。二次試験と口頭試験の間になる。)

そして平成25年の8月、二次試験筆記。ここで大失態！腕時計を忘れ、しかも試験場に時計がない！択一式はまだしも、記述式の方は気もそぞろ。時間の感覚がまるでわからず、焦りまくり。普段は書ける内容も頭がプツン！1問目は工程表の説明問題。よっしゃあ！となんとか記述できた。2問目。得意のはず？のコンクリート関連の問題が出たのに、「3種類の養生方法？」何じゃソレ？といろいろ考えたけど、解らず、(1)はほぼ白紙。(2)で高炉セメントコンクリートの問題。何とかマス埋める。3問目。今年新企画の課題解決論文。過去問でも頻出していた社会資本問題と重大事故に関する安全管理問題だった。時間が解らずパニックになっていた頭には社会資本問題のキーワードが全然浮かんでこない。そのため重大事故に関する課題解決論文を選択。苦し紛れに単語を並べてマスを埋めたけど手応え無し。敗北を覚悟して、暗い気持ちで自宅に帰る。

そして10月の発表。なんと合格！「マジカヨ！」と何度も確認。信じられなかった。しかも記述式がオールA！。目をこすった。ありがたい気持ちが第一。試験制度が改変されて第1回目の試験だからアメくれてくれたのかな？

俄然、張り切り口頭試験対策に応募。模擬試験を受講。下調べをして腹案も作り、覚えたつもりが、いざ面接となると緊張して言葉が出ない！頭は真っ白け！まいった！これに懲りて素で言えるように暗唱の練習をする。

運命の12月6日。口頭試験。緊張しまくり。前日に泊まり、余裕で試験場まで行ったけど、呼ばれて試験会場に入室してからは、また頭は真っ白け！。挙げ句が、難聴気味の耳が聞こえない。補聴器を通じても片方の試験官の音が聞き取れない。難問かは質問の内容もわからずギブアップ。帰りはまたもや暗い気持ちで、トボトボと自宅へ。やけ酒呑んでオダ挙げて、家中の響響を買って意気消沈。その時書いた感想文が下記のとおり。

◎ 口頭試験を終えて

ダメかもしれん。うまく答えられなかった。試験後、家に帰り泥酔。「チクショー」だの「コンチクショー」だの「バカヤロー」だの暴言を喚き散らし家中の輦轡を買う。試験の長さに比べて、たった20分のみを受け答えで決まるなんて。まさに「天国から地獄」。まだ決まったわけではないけど、手応えがなかった。

余裕を持って口頭試験に臨むため、前日は妖しいネオンを尻目に、新宿歌舞伎町のビジネスホテルに宿泊。うまく言えなかった受験動機と経歴を素で言えるように練習。なかなかスラスラ言えない。試験当日 12/6、ホテルでバイキング形式の朝食を食べ、シャワーで身を清め、背広に着替えて、早めに宿を出る。試験が 11:00 からなので9時に出て、渋谷フォーラム 8 に 9:30 頃に到着。向かいのハンバーガー屋でコーヒー呑みながら、もう1回抱負と経歴を復習。

10:30 に試験場に入る。771 号室で受付を済ませ、控え室へ。何人もの人が順番を待っていた。試験室は 12 階の 1206 号室。緊張が高まる。受験番号と名前を名乗るということで、あわてて受験番号を覚える。長いので覚えられるか不安。[0910\*\*\*\*\*]。10 分前に会場へ上がり、椅子に座り待つ。胸が高鳴る。深呼吸してもなかなか収まらない。

前の人が出てきて、待っていると部屋の中から B さんが出てきて招き入れてくれた。荷物をおいて受験番号と名前を名乗り「よろしくお願いします。」と喋って着席。A さん、「この経歴書に書いてある以外のことで追加するようなことがありますか？」

私、「特にありません。」

A さん、「大体はわかるんですが、あなたの長い経歴の中で、2,3 業務内容を説明してください。」

のっけからの変化球で、つい聞かれもしないのに受験動機から話す。

「技術士受験を通じて、自らの技術者としての可能性の幅を広げ、技術力の向上へとつなげたいと考えました。また当社では現在、技術士がいないため、自ら技術士を取得することにより、後進の指導育成と学習意欲・向上心のモチベーションとなるように考えました。技術者人生も終盤になり、今まで培った技術の継承・若い技術者の指導・バックアップあるいは APEC 技術士も視野に入れて社会への貢献・建設業への還元をしていきたい。」

業務内容ですが、一つ目は N 県の高規格道路で橋台の下部工事を施工しました。橋台の基礎として場所打ち杭が計画されていましたが、当初計画されていた揺動式オールケーシング機では、柱状図より巨石の混入率が多く施工不可が予想されました。また NTT の光ケーブルが埋設されていたため、施工方法が課題でした。まず詳細な地質ボーリングデータを基に、試験掘りにより巨石の混入状況・大きさを確認しました。その結果、礫の混入率が 60~70%、最大礫径が  $\phi 40\sim 50\text{cm}$  と推定された。試験掘りによっても基礎杭の 1/3 以上の巨石が確認され、施工不可を確認し、全周回転式オールケーシング機による施工方法に変更しました。

光ケーブルについては移設が不可のため、場所打ち杭施工時に損傷しないよう、NTT 管路の試験掘りを行い、杭位置は鋼製ライナープレートで縁切りをし、さらに点検孔を設け

て施工しました。掘削時には桁材(H-900\*300)により吊り防護をして損傷防止としました。

2つ目はN県にあるK川で帯工と根継ぎ護岸工事を施工しました。帯工は堤長 118m、高さ 7m、コンクリート量 1,117m<sup>3</sup>、護岸延長 316m、高さ 5m、石張り面積 1,361m<sup>2</sup> でした。総合評価入札で受注した工事で、技術提案内容で挙げた、工事現場での濁水の発生を低減することが課題でした。

対策として①帯工上流側に集水井（φ 1.5m）を3本設置し、揚水することにより濁水の原因となる湧水を減らす。②残存型枠を使用して脱型の手間を省く。③隔壁・小口止めにプレキャスト製品を利用し、濁水の発生を抑える。④沈砂地を3連設置して濁水を抑える。濾過材としてヤシ樹脂を束ねた NETISU 製品を使用する。⑤仮締切に既設根固めブロックと大型土嚢を利用して、なるべく土砂の濁りを減らす。などの対策をとりました。今までの経験を活かし課題に対して多方面からのアプローチができたのではないかと考えます。以上です。」

Aさん、「失敗した現場があれば、説明してください。」

私、「既設橋脚撤去工事で、コンクリートカッターの切断水が JR の特急電車に掛かり、列車を止めた事例について説明する。」

Aさん、「技術士という資格をどのように考えていますか？技術士を取得すると何が変わりますか？」

私、「説得力が違います。受験勉強をして非常にいい資格なので後輩にも受験を勧めたいと思います。施主との協議においてアピール出来ます。」

Aさん、「施主との協議はどのようにするのですか？」

私、「最近、施主と設計者が別々で、予算と設計と分かれることが多いです。そのため現場で不明な点があっても、すぐに結論が出ないことがあります。タイムラグを生じます。不明な点についてこちらで資料を作成して、施主・設計者を交えた3者協議を開いてもらい相談します。最近はよくなってきています。技術士があれば説得力があります。」

Bさん、「国土強靱化って知っていますか？」

Bさんの声が聞き取りにくく、聞き直したが、聞いたことはあったが、中身については全然把握してなかったもので、仕方なく「わかりません。」と答え、パニック！

それにつれていくつか聞かれたような気もするが、答えられず。

Bさん、「CPDについて知っていますか？」

私、「技術士を取得したら、講習を受けたいと思います。」

Bさん、「APEC技術士を取得するにはどのようにしたらよいですか？」

私、「？」

Bさん、「技術士の定義は何ですか？」

私、「技術士法第2条に定義されています。つかえながら何とか答える。

「技術士」とは、第三十二条第一項の登録を受け、技術士の名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、

評価又はこれらに関する指導の業務を行う者のことです。」

Aさん、「技術士の3義務を説明してください。」

私、「技術士法第4章に3義務2責務が定められています。3義務2責務とは、信用失墜行為の禁止、秘密保持義務、名称表示の場合の義務、公益確保の責務及び資質向上の責務です。」

Aさん、「どうもありがとうございました。これで結構です。」

私、「よろしいですか？ありがとうございました。失礼します。」

終わった・・・・・・・・。おわっちまった。聞き漏らしたのか、質問されなかったのかわからないけど倫理についての質問がなかったので、大不安！時間も15分少しで終わっちまった。帰りはトボトボと道玄坂を上りながらNHK見学して、明治神宮へお参りして代々木から新宿へ。質問を振り返りながら、うまく答えられなかった後悔のみ。

思えば今年の1次試験から、足かけ2年の長い試験。それがこのたった何分かの間答で振り出しに戻るかと思うと、本当にやりきれない。一縷の望みを託して、明治神宮にもお願いしたけど、どうなるか？

それでも一縷の望みをかけて、今日まで悶々とした日々を過ごす。この合格発表までの期間は長かった！後悔と疑心暗鬼と諦観と神頼みと想いは千々に乱れる。

そして3月3日。怖いもの見たさで朝一番に技術士会のホームページで受験番号を確認！（今まで見たこともない官報なるものを、口頭試験終わってから予約して、合格発表後、改めて購入し、受験番号と名前を確認した。）

あった！あった！それこそ何回も番号を確かめ、何回も画面の番号と照合。家へ帰っても合格通知が届いていなくていくらかガッカリだったけどまず間違いはないでしょう。

みなさまのおかげです。家族にも感謝します。

「人事を尽くして天命を待つ。」確かにその通りでした。